

＜福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ＞
(4月27日 午後3時現在)

平成23年4月27日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所は全号機（1～6号機）停止しています。

1号機（停止中）

- ・ 3月12日午後3時36分頃、直下型の大きな揺れが発生し、1号機付近で大きな音があり白煙が発生しました。水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月23日午前2時30分頃、給水系から原子炉への海水注入を開始しました。
- ・ 3月25日午後3時37分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。

4月27日午前10時2分、原子炉内の燃料の冠水に適切な注水量を検討するため、注水量を約6m³/時から約14m³/時まで段階的に変動させる操作を開始しました。

- ・ 原子炉格納容器内に水素ガスが蓄積している可能性があることから、酸素濃度の上昇を防止する観点より、4月6日午後10時30分より格納容器内に窒素ガスの注入に関わる弁操作を開始し、4月7日午前1時31分より、注入を開始しました。

2号機（停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃に圧力抑制室付近で異音が発生、同室の圧力が低下。
- ・ 3月26日午前10時10分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。

3号機（停止中）

- ・ 3月14日午前11時1分頃、1号機同様大きな音とともに白煙が発生したことから、水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月25日午後6時2分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。

4号機（定期検査で停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃、大きな音が発生し、原子炉建屋5階屋根付近に損傷を確認。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

5号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・ 3月19日午前5時、残留熱除去系ポンプ（C）を起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後2時30分、原子炉は冷温停止状態となりました。

- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

6号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。
- ・ 3月19日午後10時14分頃、残留熱除去系ポンプ（B）を起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後7時27分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

使用済燃料プールの冷却作業

- ・ 4月26日午後4時50分から午後8時35分まで、コンクリートポンプ車による4号機への放水を行いました。
- ・ 4月27日午後0時18分、コンクリートポンプ車による4号機への放水を開始しました。
- ・ 今後とも使用済燃料プールの状況を確認しながら、必要に応じて放水・注水を実施したいと考えています。

その他

- ・ 当所における緊急時作業にかかる被ばく線量の確定作業を順次実施しておりますが、平成23年4月27日、東北地方太平洋沖地震発生後の作業に従事していた女性職員1名について、平成23年1月1日を始期とする3月までの実効線量（平成22年度第4四半期分）が17.55ミリシーベルトであり、法令に定める線量限度（5ミリシーベルト／3ヶ月）を超えていることを確認しました。
当該の女性職員については、医師による診察の結果、健康への影響はないことを確認しております。
- ・ 電源強化工事（3・4号機から1・2号機への電源切替作業）に伴い、4月26日午前10時23分から午後3時27分まで4号機の電源盤（480V）を、4月26日午後3時56分から午後4時34分まで共用プールの電源盤（480V）を一時停止しました。
- ・ 4月26日午後1時30分、構内において放射性物質飛散防止剤の散布を開始しました。
- ・ 4月19日午前10時8分、2号機タービン建屋内から集中廃棄物処理施設へ高いレベルの放射性廃液の移送を開始しました。
- ・ 安全の確保に向け全力を尽くしてまいるとともに、引き続き周辺環境のモニタリングを継続・監視してまいります。

以上